



# あげまつ

# 8

2021/AUGUST  
687号



## e-カエルカードスタート

8月1日よりe-カエルカードがスタートしました。それに合わせて7月31日にオープニングイベントが総合文化センターで行われました。会場ではカード加盟店によるテイクアウト販売やゲームコーナーが用意され、来場した人たちは買い物や射的を楽しみました。

(関連記事 2P)

令和3年7月末現在  
世帯 2,028 戸(+ 1)  
男 2,052 人(+ 1)  
女 2,146 人(- 2)  
計 4,198 人(- 1)



美林ちゃん



太郎ちゃん

## e-カエルカード オープニングイベント



「e-カエルカード」の利用が八月一日から始まるのに合わせ、上松町商工会は七月三十一日（土）にひのきの里総合文化センターでオープニングイベントを行いました。「e-カエルカード」は今まで町で使われていた「ゆめカエルカード」に代わる新しいカードです。

町加盟店での買物の際に提示することで、「e-カエルポイント」が百円ごとにポイント貯まります。貯まったポイントは加盟店でポイント一円として買い物などで利用できます。

また、カードに加盟店で使える電子マネー「e-カエル電子マネー」をチャージすることができま



会場ではカードの登録、発行と「ゆめカエルカード」のポイント引継ぎを行えるブースが用意され、当日は二百人の方が登録をしました。

また、カード加盟店によるテイクアウト販売会も行われ、来場した人たちは買い物や射的ゲームを楽しみました。

八月五日現在でのカードの登録者は千三百六十六と目標を超える人数となりました。

カードの発行は商工会、各加盟店で出来ますので、是非ご利用ください。

## 寺坂に提灯の明かりが灯りました



寺坂に並んだ100張りを超える提灯  
夜の寺坂を明るく照らします

町では、町外の方から寄附いただいた「ふるさと納税」を活用し、地域のお祭りやイベントを盛り上げるため提灯一二五張りを購入いたしました。この提灯は令和三年四月より、企画財政課企画政策係にて所管する「コミュニティ備品」として、区や分館等のコミュニティ団体へ貸出しができるよう整備されています。

今回、この提灯を初の貸出し団体として上松町建設協会が寺坂に掲出しました。

寺坂では以前より上松町建設協会が会所有の提灯を毎年夏の時期に掲出しており、上松町における夏の風物詩として皆さんに親しまれておりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら今年の「ひのきの里の夏まつり」は中止となってしまいました。

したが、夜間の景観向上と夜道の安全確保のため、提灯は九月上旬まで掲出予定です。夜十九時～二十二時の間に明かりが灯ります。

## 夏の全国交通安全やまびこ運動

七月二十二日（木・祝）から三十一日（土）までの十日間、夏の全国交通安全やまびこ運動が行われました。

初日となった二十二日は南木曾町羅天地区で、のぼり旗を持ってドライバーへ交通安全を呼びかける人波作戦が行われ、上松町交通安全協会も参加しました。

また、七月三十日には国道十九号での速度抑制、安全運転を呼び掛ける「木曾かめ君五十」が行われ、それに合わせて町交通安全協会が交通機動隊前の人波作戦を行いました。



新型コロナウイルスの影響が続き、車での移動が減少していることもあり、県内の交通事故は例年の同時期より低くなっています。しかし、交通事故はいつ、どこで起きるかわかりません。運転の際は横断歩道付近での徐行や、暗くなったら早めに車のライトをつけるなど、安全運転に努めましょう。また、歩行者の方も横断歩道を渡る際は手を挙げる、夜出歩く際は反射材を身につけるなど、交通事故防止を心がけましょう。

## 下校する小学生への街頭指導

七月九日に上松町交通安全協会は、小学生の下校に合わせて街頭指導を行いました。

これは六月二十八日に千葉県で起きた、下校中の児童の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、五人が死傷する事故を受けて行われた、県下一斉の飲酒運転防止街頭啓発活動の一環として行われました。

協会員の方たちは、小学校付近の横断歩道や交差点などに立ち、下校する小学生に事故にあわないよう注意と走行中の車へ安全運転を呼びかけました。

けました。

少しのお酒でも、飲酒した状態では、運転に必要な情報処理能力、注意力、判断力が低下してしまい、事故を起こしやすくなります。

「ちょっとしか飲んでいないから」「すぐ近くまでだから」ということはありません。飲酒運転根絶のため、ご協力をお願いします。



## 「上松町地域ささえあい商品券」の支給実施

町では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けている家計の支援を行うとともに、影響を受けている町内の事業者の活性化と外出自粛等により落ち込んだ町内経済の回復を図ることを目的に、7月1日において町の住民基本台帳に登録のある方へ国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して「上松町地域ささえあい商品券」（1人当たり1万円分）を簡易書留等により支給いたしました（支給対象2,027世帯、4,199人）。商品券の利用期限は、令和3年8月1日から令和4年1月31日までとなっておりますので、町民の皆様におかれましては、町内で安心して買い物をしていただき、合わせてコロナ禍で影響を受けている商店・事業者への支援として、地域内消費に是非ご協力お願いいたします。



(福)木曾社会福祉事業協会 木曾ねぞめ学園  
(7月26日)



## 新型コロナウイルス感染症対策用マスクの町内施設配布を実施

現在、首都圏だけでなく、関西圏をはじめ全国の多くの地域で新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数が増加傾向となっております。長野県内においても、感染経路が県外と推定される事例、同居家族間の感染や感染経路不明の事例などが多く確認されており、新規陽性者数は急増しております。夏休み・お盆など新たな人流の増加が見込まれる中で、換気の徹底・マスク着用・手洗い・手指消毒、人との距離の確保及び体調管理など基本的な感染防止対策により「感染しない、感染させない」ことが重要になっており、町では、今回、多くの方と接触機会のある町内の教育施設、福祉施設17施設に不織布マスク21,000枚を配布いたしました。



(福)上松町社会福祉協議会 (8月4日)

各施設や町民の皆様におかれましては、感染防止対策を改めて徹底していただきますようお願いいたします。

みなさんこんにちは。上松町協力隊の宮原です。  
七月二十二日、テントサウナお試し会を町民のみなさんと一緒に開催させていただきました。前日まで天気を心配し続けましたが、当日は快晴！サウナを終えて会場を後にしたとたんに土砂降りという奇跡的なタイミングでイベントを行うことができました。参加者の皆さんからは、「日常を忘れてリラックスできた」「体が軽くなった」「上松の自然も感じられて心が洗われた」という声をいただき、同じ時間と気持ちを共有でき

### 【宮原 未来 隊員】



地域おこし  
協力隊だより



たことがとても嬉しかったです。

飛ぶ、というものです。

サウナにはリラックス効果はもちろん、血を巡らせて脳の疲れを取り、仕事の効率をアップさせてくれる効果もあります。性別や職業を問わず、たくさんの方に取入れられてほしい健康法のひとつだと考えています。(もちろん危険もつきものなので注意が必要です)

上松町が誇る大自然、長年住んでいる人にとっては当たり前になってしまっているかもしれませんが、火照り前になつてしまつては当然、大きな石の上でゴロンと横になつてみると、この空間がどれだけ贅沢なものか実感できると思います。「ひのきの里・あげまつ」「森林浴発祥の地・あげまつ」……テントサウナを通して、ここでしかできない体験を皆さんと一緒に経験したい。そんな想いで、これから開催するサウナイイベントをますます進化させていきたいと思ひます。次回開催について、また広報などでお知らせいたしますので、たくさんの方のご応募をお待ちしています！

テントサウナとは、屋外に専用のテントを張り、中で薪ストーブを熱して温度を上げ入浴するものです。ストーブの上には石を乗せ、熱した石に水をかけて(ロウリュウといいます)水蒸気を発生させ、さらに体感温度を上げていきます。そして体がしっかりと温まつたら川へ。全身をキュッと引き締めたら、ゆっくりと休憩。これを数回繰り返すことでストレスや疲れが吹っ

つた体を冷ますために川に入り、大きな石の上でゴロンと横になつてみると、この空間がどれだけ贅沢なものか実感できると思います。「ひのきの里・あげまつ」

「森林浴発祥の地・あげまつ」……テントサウナを通して、ここでしかできない体験を皆さんと一緒に経験したい。そんな想いで、これから開催するサウナイイベントをますます進化させていきたいと思ひます。次回開催について、また広報などでお知らせいたしますので、たくさんの方のご応募をお待ちしています！

暑い日が続きますが、水分・塩分補給を忘れずにお身体ご自愛ください。

1日目	前頭二枚目	逸ノ城	●	寄り切り
2日目	前頭二枚目	隆の勝	○	押し出し
3日目	前頭三枚目	北勝富士	○	寄り切り
4日目	前頭三枚目	翔猿	○	押し出し
5日目	前頭筆頭	遠藤	□	不戦勝
6日目	小結	明生	●	突き落とし
7日目	前頭筆頭	大栄翔	○	叩き込み
中日	関脇	高安	●	寄り切り
9日目	前頭四枚目	琴恵光	○	押し出し
10日目	大関	正代	●	叩き込み
11日目	大関	照ノ富士	●	寄り切り
12日目	横綱	白鵬	●	寄り切り
13日目	前頭五枚目	玉鷲	○	寄り切り
14日目	前頭五枚目	豊昇龍	○	寄り切り
千秋楽	小結	若隆景	●	上手投げ

## 大相撲令和3年7月場所 御嶽海関の成績

西関脇 8勝 7敗

大相撲令和3年7月場所が、愛知県名古屋市ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)で開催され、令和3年7月4日から7月18日まで行われました。久しぶりに両国以外での本場所開催となった今場所、初日は黒星となりましたが、2日目から連勝を重ねました。しかし、6日目に黒星となり、その後は勝ちが続かず、勝ち越しとはなりませんが、2場所続けての2ケタ勝利は逃してしまいました。来場所では更なる活躍を見せてくれることを期待します。

**頑張れ！御嶽海関！！**

## 第五回木曾地域ボーダレスアート展 COLORS 初夏の部

七月九日（金）から十一日（日）の三日間、ひのきの里総合文化センターで「第五回木曾地域ボーダレスアート展 COLORS 初夏の部」が開催されました。

「COLORS」は木曾郡内の福祉施設利用者や養護学校・地元小学校支援クラスに在籍している児童・生徒の創作活動を発表する場として平成二十九年から開催されています。



秋の二回開催となり、初夏の部は企画展として、「寝ても覚めても 並べる・連なる・繰り返す」をテーマにした作品が集められました。

会場には同じ模様やキャラクターを並べ、組み合わせた作品や、一つのテーマを追求し、何枚も描かれた作品など五十七点が展示されました。どの作品も作者が日常の一部として製作した、個人的なものばかりで、会場を訪れた人達を楽しませてくれました。



今回のアート展には三日間で百二十四人が来場しました。次回秋の部の開催は十月二十二日（金）から二十四日（日）の予定です。



## 衣類・古着リサイクル回収

七月十六日（金）と十七日（土）の二日間、衣類・古着リサイクル回収が行われました。

この衣類・古着回収は可燃ごみの削減と、リサイクル促進を目的に平成二十五年度から始められました。

町で回収した衣類等は選別業者に運送され、種類ごとに分けられた後、リサイクル処理業者に引き渡され、工場などで使われるウエスや反毛（再加工するため繊維に戻す）

こと、古着などに再利用されます。

今回は持ち込み式の回収で、会場となった見帰倉庫に多くの人が訪れ、濡れないようビニール袋に衣類・古着を入れて持ち込みました。

今回のリサイクル回収では二日間で五、四四五kgもの衣類、古着を回収できました。これからも可燃ごみ削減、リサイクル推進にご協力ください。



## 上松町消防団幹部研修会

令和三年度の上松町消防団幹部研修会が、七月二十九日（木）に、ひのきの里総合文化センターにて開催されました。

この研修会は、消防団の幹部（副班長以上）を対象に、団員を指導する立場の者としての消防に関する技術や、知識の向上を図ることを目的として、毎年開催されています。

今回の研修では、消防団で使用している消防用ポンプのメンテナンスを長年担当して



いる株式会社コウサカ 青木正雄氏を講師にお招きし、ポンプの原理や構造、運用と日常での管理についての講座を行いました。

講座では、消防で使われるポンプの種類や、水が出る原理を、内部構造の図面や写真を用いて詳しく説明していただきました。

また、ポンプ使用後のメンテナンスや、冬季に管理する際の注意点を教わりました。

## 特殊詐欺防止啓発活動

八月十三日（金）に上松町役場で、木曽警察署による特殊詐欺防止啓発活動が行われました。

これは、県内で警察官や百貨店店員をかたりキャッシュカードを狙う特殊詐欺や架空請求詐欺の被害が多発しており、昨年よりも被害件数、被害額が増加している状況を受けてのもので、特に高齢者を狙った詐欺被害が増加する年金支給日に合わせて行われました。

当日は、役場や八十二銀行を訪れた方に、木曽警察署の職員と大屋町長がチラシや啓発品を渡ししながら、特殊詐欺への注意を呼びかけました。

また、長野県警察のマスクットライポくんとライビィちゃんも参加し、一緒に啓発活動を行いました。

特殊詐欺は他人ごとではありません。詐欺被害に遭わないために、次の点に注意しましょう。



- ・市町村や警察がATMの操作をお願いする事は絶対にありません。
- ・警察官や銀行職員が、暗証番号を聞いてキャッシュカードを預かることは絶対にありません。
- ・身に覚えのないハガキやメールに書かれた番号には絶対に電話をしないでください。
- ・未納料金を電子マネーカードで支払うことは、絶対にありません。

不審な電話やメール、ハガキがありましたら、木曽警察署までご相談下さい。

新型コロナウイルス感染症にも対応した  
避難所環境整備

## 上松町社会体育館改修工事を実施

災害時の避難所の運営については、避難者の良好な生活環境の確保が重要視され課題となつていますが、これからは、避難所の環境向上に加え、新型コロナウイルス感染症対策への配慮も求められています。

当町の指定避難所の一つである上松町社会体育館については、換気設備や冷暖房設備が無いため、避難所としての環境向上を目的として、**新型コロナウイルス感染症対応地**



方創生臨時交付金を活用して、

事業費四千二百二万円で施設の改修工事を実施しました。

改修の内容は、外装工事として、開放空間率の高い体育館での熱効率を上げるため、屋根の遮熱効果を高める塗装処理を行いました。

内装工事としては、換気を効率的に行うため、東西側面に吸排気型の大型換気扇を二組と、ギャラリイに大型の冷暖房設備五基を設置しました。また、これらの設備が、停



電時にも継続して利用できるよう、上松町公民館の電気設備を改修し、非常用電源として、電源車を接続することにより、社会体育館の電源を確保することができるようになりました。

今回の施設改修にあたっては、工事期間中、施設利用者の皆様には体育館の利用制限等ご不便をおかけしましたが、災害時の避難所としての環境整備に加え、平常時の利用環境の向上も図ることができました。ご協力ありがとうございました。

なお、今回改修した社会体育館を利用して、九月一日（水）に実施する第三十五回上松町総合防災訓練において、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設、運営訓練を実施し、いざという時にスムーズに避難所開設ができるよう手順等を確認する予定です。

## 上松町交通安全協会が 交通指導所を開設

八月七日（土）に上松町交

通安全協会による交通指導所が、国道十九号交通機動隊木曾分駐隊前で行われました。

例年、交通安全協会は八月上旬に、赤沢自然休養林を訪れる観光ドライバーを対象とした交通指導所を開設し、交通安全の啓発を行ってまい

したが、休養林が臨時休園となつたため、場所を変更して開設されました。

指導所には交通安全協会役員・地区代議員、木曾警察署、交通機動隊、木曾交通安全協会の職員など三十八名が参加し、名古屋方面から来る車両に停止していただき、マスクや障がい者施設「森のパン工房ほっぺ」で作られたクッキー、安協特別会員の野村武敏さんが一つひとつ手彫りした交通安全祈願の観音像を配布して、交通安全を呼び



今後も引き続き、関係機関が連携し、交通安全を訴え、事故防止に努めていきます。

## 上松小中学校特別支援学級交流会

七月十六日（金）に上松小中学校特別支援学級交流회가赤沢自然休養林で行われました。

この交流会は、支援学級の児童・生徒たちに学年や、学校の垣根を越えて交流も持つてもらうことを目的に平成二十九年から始められ、今回は小学生十五名、中学生三名の十八名が参加しました。児童、生徒たちは、グループに分かれて園内を行動し、森林鉄道に乗車や各資料館の



見学、休養林内の散策を楽しみました。

また、休養林の散策では、先生方が用意した赤沢自然休養林に関するミッションを、グループごとに園内を調べて答えを探すレクリエーションも用意され、児童・生徒たちはミッションをクリアするためグループ内で協力して取り組み、交流を深めました。



## 危険生物対策講座

七月七日（水）に上松町公民館で危険生物対策講座が開催されました。

この講座は上松町観光協会が主催し、観光業関係者等を対象としたもので、二十八名の方が受講しました。講座はZOOM中継によるオンラインで行われ、講師の（一社）セルズ環境教育デザイン研究所代表の西海太介氏から、受講者は身近な危険生物として蜂、蛇についての



生態や、もしもの場合の対処方法を学びました。

**蜂についての重要点**  
 ・人を刺す蜂にも、種類ごとに巣の場所や刺し方など違いがある  
 ・蜂が人を刺す場所や状況には理由がある  
 ・刺された際は再度刺されないようその場からすぐに離れ、流水で傷口を絞り洗うこと



・アナフィラキシーショックは、刺された回数よりも体質によるため、蕁麻疹や呼吸困難などの症状が出た場合はすぐに病院へ行くこと

### 蛇についての重要点

- ・日本本土に生息する蛇のうち毒を持つのは、ニホンマムシとヤマカガシの二種類だけ
- ・蛇の色や模様は生息地や個体差によって変化が激しいため、頭の形などで区別することが重要
- ・噛まれた際は、走ってでもすぐに病院に行くこと
- ・蛇の種類によって治療法が違うので、どの種類の蛇に噛まれたか判断すること
- ・患部が腫れるので時計や指輪など締め付けるものをはずすこと

講座の中で西海さんは「危険生物による事故を防ぐためには、その生物の特徴や生態を把握し、対策をすることが大切です」と話しました。

## 健康増進センターリレートーク ……健康とデータ⑥②



美林ちゃん  
(美)

接種人数 1回目接種済者：2,524名  
2回目接種済者：2,138名  
(令和3年8月4日現在)



太郎ちゃん  
(太)

美：ねーねー、太郎ちゃん。新型コロナワクチン接種の話、よく聞くよね。

太：うんうん、「2回目終わった」とか、「これから予防接種するよ」とか、「病気があって受けられないんだよね」とか、いろいろな話を聞くよ。

美：今、町の人ほどのくらいワクチン接種をしたのかな。なんだか気になっちゃう。

上松町では5月上旬から健康増進センターを会場にして、新型コロナワクチン接種を実施中です。7月末で65歳以上の方等への優先的な接種が終了しました。

65歳以上の方の接種	1回目接種済者 1,640名 (65歳以上の約90%)
	2回目接種済者 1,525名 (65歳以上の約84%)

(優先ではありませんが、65歳以上の方の接種は現在も実施中です。)

この予防接種は12歳以上からが接種対象になり、町民の接種対象者の6割が1回目の接種を終えています。多くの方にお越しいただくため、朝の早い時間帯が込み合ってしまう、ご迷惑をおかけしております。

また、感染予防対策も取りながら行っているため、受付時間を守っていただいたり、感染症が流行している地域からいらっしゃる方は専用の場所でお待ちいただく等ご協力をお願いしています。

多くの方に予防接種を受けていただいています。アレルギーなどの事情でワクチン接種が受けられない方もいます。ワクチン接種を受けた方も、引き続き感染予防の取り組みが必要となります。様々な方が暮らしている事を分かりあひながら、皆さんと力を合わせて感染症対策に取り組んでいきたいと思っています。

上松町健康増進センター 保健衛生係 (52-2825)

町の情報は  
こちらから  
上松町公式サイト



<http://www.town.agematsu.nagano.jp/>

※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。

川上	織田	木下	丸谷	宮下	小脇
政枝	賀代	吉也	義夫	保仁	和夫
95歳	96歳	92歳	95歳	73歳	77歳
沖田町	西中	寝覚1	寝覚1	島	上瀬木

ごめいふくをお祈りします



七月  
(敬称略)